

2021 年 3 月 22 日

## フューチャー・アース日本委員会の運営委員会改選について

国立環境研究所 江守正多

この度、フューチャー・アース日本委員会の運営委員会は武内和彦共同委員長の退任に伴い、運営委員会の改選を行うとともに、新たな共同委員長を選出しましたのでご報告します。

## 運営委員会委員（14 名、50 音順）

- 江守正多 国立環境研究所地球環境研究センター副センター長/日本学術会議連携会員
- 大西 隆 日本学術会議連携会員
- 蟹江憲史 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授/日本学術会議連携会員
- 高村ゆかり 日本学術会議副会長/東京大学未来ビジョン研究センター教授
- 谷口真人 総合地球環境学研究所副所長/日本学術会議連携会員
- 土居下充洋 文部科学省研究開発局環境エネルギー課長
- 長島美紀 認定 NPO 法人 Malaria No More Japan 理事
- 原田尚美 海洋研究開発機構地球表層システム研究センター長/日本学術会議連携会員
- 檜山哲哉 名古屋大学フューチャー・アース研究センター副センター長
- 福士謙介 東京大学未来ビジョン研究センター教授/日本学術会議連携会員
- 安岡善文 一般財団法人リモート・センシング技術センター技術参与
- 安成哲三 総合地球環境学研究所所長
- 山内太郎 北海道大学大学院保健科学研究院教授（北大 FE コンソーシアム）/総合地球環境学研究所教授
- 山本百合子 公益財団法人イオン環境財団専務理事・事務局長

委員の互選により、共同委員長（日本委員会共同議長）は、安成哲三委員と山本百合子委員にお務め頂くことになりました。

なお、オブザーバについては、今後、運営委員会にて検討される見込みです。

## &lt;参考 1&gt; フューチャー・アース日本委員会の目的（規定第 2 条より）

国際学術プログラムであるフューチャー・アースの国内外における展開を図るため、日本学術会議と連携し、社会における幅広いステークホルダーとの連携・協働を通して我が国における超学際的な取組の推進を目指す。また、フューチャー・アースの取組を通じて、国内外における国連持続可能な開発目標の実現に向けた社会の各層における取組に資することを旨とする。さらに、フューチャー・アース国際本部事務局日本ハブ及びフューチャー・アース・アジア地域センターの活動を支え、我が国の国際的な取組を強化する。

<参考 2> フューチャー・アース日本委員会参加機関（2021年3月21日時点）

- 北海道教育大学（函館校国際地域学科）
- 東北大学
- 茨城大学
- 千葉大学
- 国連大学（サステナビリティ高等研究所）
- 政策研究大学院大学（政策研究科）
- 東京大学（未来ビジョン研究センター）
- 慶応義塾大学（大学院政策・メディア研究科）
- 名古屋大学（フューチャー・アース研究センター）
- 中部大学
- 三重大学（大学院 生物資源学研究科）
- 京都大学（学際融合教育研究センター Future Earth 研究推進ユニット）
- 鳥取大学（国際乾燥地研究教育機構）
- 広島大学（FE・SDGs ネットワーク拠点(NERPS)）
- 高知工科大学（フューチャー・デザイン研究所）
- 九州大学（持続可能な社会のための決断科学センター）
- 長崎大学（大学院 熱帯医学・グローバルヘルス(TMGH)研究科）
- 一般社団法人イクレイ日本
- 科学技術振興機構／社会技術研究開発センター
- 国立環境研究所
- 総合地球環境学研究所
- 地球環境戦略研究機関
- 日本科学未来館
- 一般財団法人CSO ネットワーク
- 文部科学省（研究開発局環境エネルギー課）
- 公益財団法人イオン環境財団
- 花王株式会社
- 一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
- 日本学術会議
- 海洋研究開発機構（JAMSTEC）
- 一般財団法人リモート・センシング技術センター（RESTEC）
- 認定 NPO 法人 Malaria No More Japan
- 宇宙航空研究開発機構（JAXA）地球観測研究センター（EORC）
- 名古屋市立大学
- 一般社団法人SDGs 市民社会ネットワーク
- 琉球大学 SDGs 推進室
- 北海道大学 FE コンソーシアム